

ジャンル：日本橋かるた

「日本橋かるた」を通して見える江戸の世界

～江戸と現代をつなぐもの～

講師紹介



石山 秀和氏

(江戸東京博物館都市歴史研究室専門研究員)

立正大学大学院文学研究科博士後期課程修了。東京都江戸東京博物館、専門研究員。専門は日本近世史。とくに当時の教育の有り方や、人々の生活文化などを中心に研究に取り組んでいる。市川寛明との共著に『図説江戸の学び』(河出書房新社)がある。

講義内容

2010年12月に完成する郷土かるた「日本橋かるた」の読み句を通して見える江戸の世界観を学ぶ事をテーマにしたこの講義では、江戸東京博物館の展示物などを中心に日本橋かるたの世界を解説。特に、1999年に旧ベルリン東洋博物館(現ベルリン国立アジア美術館)で発見され、2003年に江戸東京博物館で公開された、文化2年(1805)の頃の江戸日本橋を描いた「熙代勝覧(きだいしょうらん)」に描かれた、江戸の人々の暮らしぶりなどを詳しく学んだ。

講義の様子

